



クライマー

「くらいまあ」山之上の「登山家（とざんか）」



令和4年7月8日
校長通信（だより）9

「七 夕」

（「七つ飾り」と「五色の短冊」）

昨日^{がつなのか}7月7日は、「七夕（たなばた）」でした。みなさんは、夜空^{よぞら}を見上げて何か^{なに}願いごと^{ねが}をしましたか？

昨年^{さくねん}もお伝え^{つた}しましたが、「七夕」も、中国^{ちゅうごく}から伝わ^{つた}ってきたものですね。

織姫^{おりひめ}と彦星^{ひこぼし}さんが、1年に一度^{いちど}出会うこと^{であ}のできる日^ひです。

今年^{ことし}は、天気^{てんき}もよいので、織姫^{おりひめ}（ベガ）と彦星^{ひこぼし}（アルタイル）の明るい1等星^{いっとうせい}が見えます。

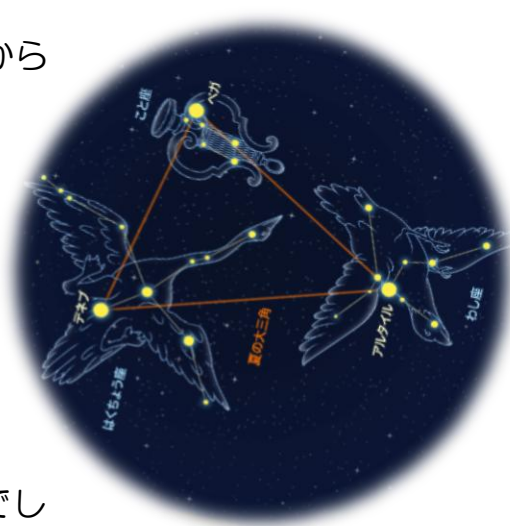
その近く^{ちか}にあるはくちょう座^さの「デネブ」を結^{むす}ぶと、「夏の^{なつ}大三角^{だいさんかく}」を見つけることができるでし

ょう（イラストの図のとおり）。

暗い場所^{くら}に行^{ばしょ}って星空^いを眺めると、織姫^{ほし}彦星^{なが}の間には、「天の川^{あまがわ}」が流^{なが}れているのがわかります。その様子^{ようす}から、七夕^{たなばた}伝説^{でんせつ}が生ま^うれたのですね。

実は、はくちょう座^{じつ}の「デネブ」という星^{ほし}は、銀河系^{ぎんがけい}でも最^{もっと}も明^{あか}るい星^{ほし}の一つ^{ひと}で、もし、太陽^{たいよう}の位置^{いち}までもってきたら、水星^{すいせい}と金星^{きんせい}をのみ込むくらい大^こきくて、地球^{ちきゅう}は丸こげになっ^{まる}てしまうくらい明^{あか}るく熱^{あつ}い星^{ほし}です。

また、南^{みなみ}の空^{そら}には、さそり座^さの赤^{あか}い星^{ほし}、「アンタレス」も見^みえます。毎日^{まいにち}暑い夏^{あつ}の夜^{よる}が続^{つづ}きますが、ふっ^{なつ}と夏^{よぞら}の夜^{みあげ}空^{あけ}を見上げてみましょう。



【七夕に関するクイズ！2】（ ）に入る数字^{すうじ}はなんでしょう？

◎笹竹^{ささだけ}に飾^{かざ}る「七夕飾^{たなばたかざ}り」は「（ ）つ飾^{かざ}り」ともよばれます。

◎「七夕飾^{しき}り」には、「（ ）色^{たんざく}の短冊^{たんざく}」をつかいます。※答えは上の方にあります